

六月十二日回会事務所ニ同催、出席者柳橋小虎、福岡金次郎外  
十一名、柳橋之座長席ニ着キ藤永田労働争議経過ノ大體ヲ述ベ、  
次員中家ノ態度ト官憲ノ不理解トヲ難シ萬一労働者側ノ敗北  
ニ帰センカ其ノ影響甚大ナル所全労働運動ノ消長ニ関スルハ予之  
カ應接ノ為ノ聯合会ニリ代表者派遣ノ必要ヲ論ジ結局福岡金  
次郎ヲ少張セシムルコトニ決セリ

(四) 友愛會ノ知識階級排斥傾向

較近各労働団体召ニ於テ所謂知識階級者ヲ排斥セトホムル傾  
向アリ友愛会亦タ此種ノ運動ヲ筋ニ具件化セシメアルノ事實ナリ  
暹般令令幹部員ニ廣汲若廣、全日本鐵夫総聯合会、北  
野野山正、東京聯合会、福岡全主工部等、松山ニ麻布又全會断和  
名温泉ニ令令、岡西ニ於テハ西尾若元ニ藤岡文六等ト柳橋小

シ知識階級排斥ニ関シ物議トシテ模樣アリ其ノ骨子、知識階級  
者カ労働運動ニ携ハル場合例ハ労働争議ニ際シテモ凡ソ打  
算的ニコレヲ条件ノ性質争議ニ不利ト認ムル場合ハ運動ニ及社ニ  
ルノミナラス運動ニ関與スルコトスラ擯斥セントスル傾アリ故ニ聯合  
運動ニハ知識階級ノ必要ヲ認メズ、蓋獨リ松岡ノハ元労働者ト  
リシニ係上階級意思識ヲ自覺シ居ルハ今何モ相者ト認メテ、階級  
スラ真ノ組合運動ト專ラ労働者ノミニ據ラントスルニ在リ之類シテ  
彼等ハ末ル大会ニ提案ホシ尙本運動ノ策戦上先ツ東京聯合大会ニ  
當リ柳橋排斥ヲナスニ至ルハ、柳橋ナリ

(六月十三日)

友愛会東京聯合会内ニ於ケル左党組ニ属スル左派ノ者ハ十二日其及金  
杉川口町書本方ニ集合、柳橋主事排斥ノ件ニ付左ノ申合ヲ為マリ  
ト云フ